Press Release

日鉄物産
NIPPON STEEL TRADING

2026 年 11 月 19 日

各　位

日 鉄 物 産 株 式 会 社

日本製鉄九州製鉄所大分地区鋼材ヤードの門型クレーンを刷新
～「NSCarbolex® Neutral」採用でカーボンニュートラルを推進～

日鉄物産株式会社（以下、「当社」）は、日本製鉄株式会社（以下、「日本製鉄」）の九州製鉄所大分地区構内で運営する鋼材ヤードにおいて、老朽化した門型クレーンを刷新しました。今回の刷新では、安全性の向上と安定操業の維持に加え、新クレーンの一部部材に日本製鉄が提供する GX スチール※1「NSCarbolex® Neutral」※2 を、階段部分には高耐食めっき鋼板「ZEXEED」の縞板を採用しました。これにより、カーボンニュートラルに向けた取り組みも進めています。





当社は 1997 年より、同構内の鋼材ヤードで造船厚板の仕分け・納入業務を担ってきました。本ヤードは、造船用鋼材の安定供給を支える物流拠点として、顧客の建造計画に応じた円滑なデリバリーを実現しています。

刷新前のクレーンは、長年にわたり同ヤードの操業を支えてきましたが、経年に伴う老朽化が進み、修繕対応の頻度も高まっていました。こうした状況を踏まえ、当社は現場の安全確保と安定操業の維持を目的に、クレーンの刷新を決定しました。新たに導入したクレーンにより、鋼材ヤードでの作業の安全性向上、設備トラブルリスクの低減、安定供給体制の維持を図ります。

特に、同ヤードでは現行の入出庫量および仕分作業量に対して 1 基体制では十分な対応が難しいことから、2 基体制の維持が操業上不可欠であり、今回の刷新により、安定した操業体制のさらなる強化を図ります。

当社は今後も、安全・安定供給・環境配慮に向けた取り組みを通じて、カーボンニュートラル社会の実現に貢献していきます。

※1：GX スチール

鉄鋼メーカーによる追加的な（スコープ 1 の）直接的排出削減行動による大きな環境負荷の低減があり、排出削減行動に伴う環境価値を一定のプレミアムとして経済価値化することを前提に、削減証書とともに供給する鋼材。

※GX スチールの定義についての詳細は、
日本鉄鋼連盟「GX スチールガイドライン」を参照ください。

※2：NSCarbolex® Neutral

日本製鉄が実施した追加性のある削減プロジェクトによる GHG(Green House Gas 温室効果ガス）排出削減量又は CO_2 排出削減量を組織内でプールし、その削減量を任意の製品に配分して証明書と共に供給する鉄鋼製品であり、一般社団法人日本鉄鋼連盟が制定するガイドラインに準拠しています。

NSCarbolex® Neutral を購入したお客様は、証明書に記載の GHG 排出削減量を、お客様が算定する組織レベルの排出量（GHG プロトコル Scope 3 category 1）からの控除及びお客様が算定する製品レベルでの上流排出量からの控除として報告することができると解釈しています。

本件に関するお問い合わせ
日鉄物産株式会社　総務・広報部 広報課
TEL：03-6772-5003　FAX：03-6772-5401